

2026年(令和8年)度 事業計画書 (案) (v2.0 版)

特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

I 事業期間

2026 年度(令和 8 年度)

(自)2026 年(令和 8 年)4月1日～(至)2027 年(令和 9 年)3月31日迄

II 事業の実施方針

本年度も、本法人の設置目的に適った特定非営利活動に係る 6 事業ならびにその他 1 事業を実施する。
本年度は、下記 4 項目について重点課題として取り組みたい。

(1)NPO会員数の増加を図る

本法人の安定的活動を支える会費収入について、会費増収を目的として NPO 会員増の取り組みを実施したい。

- ① 本法人の活動存在を知っていただく広報活動の展開
 - ・ホームページ・チラシ・市広報誌活用・SNS・アマチュア無線交信・各種イベント等
- ② 会員になって、よかったと思っただけの会員への還元施策の強化
 - ・新まんでんてらこやの継続開催(年 4 回開催)
 - ・NPO 活動報告等の会報作成と定期送付(電子媒体等)の検討
 - ・大きな地震イベント等発生時、研究者から会員へ臨時解説会等(オンライン等)の検討

(2)新規サポーターの育成

本法人の基本的活動である、一般・団体見学会等を支える市民サポーターが高齢化等で減少傾向にある。
新規サポーターの募集・育成・定着が喫緊の課題であり下記項目等を最優先課題として取り組みたい。

- ① ターゲットを絞ったサポーター募集
人生 100 年の時代、会社等退職後地域での活動を考えている人を対象として、市広報誌等を活用し募集を行う
- ② 育成計画・カリキュラム・マニュアル再整備
育成計画を明確にするとともにカリキュラム・マニュアル等再整備を図る
- ③ 研修制度の構築
地震計ツアーやセミナー研修、一般見学会日程とは別に新人サポーター研修日を設定し研修制度を充実する
- ④ モチベーション維持とコミュニティ形成
サポーター間交流会や社会見学会等を企画実行し、サポーター自身がワクワクする楽しさと仲間づくりを図る
サポーターが阿武山観測所での活動を誇れる取り組みを展開したい

(3)一般見学会、団体見学会の見学者数を増やす

本法人の基本的活動である、阿武山観測所での一般見学会や団体見学会が定期・不定期開催されていることを、高槻市民をはじめ一般市民に十分浸透されていない。これまで以上に広報活動等に力点をおき見学者数増に向けた取り組みを展開したい。

- ① 出前講座等をおして防災団体等への積極的売り込み
- ② 近隣学校関係者へ取り組み内容説明会開催等
- ③ ホームページ・チラシ・市広報誌・SNS・アマチュア無線交信・各種イベント等複数媒体を活用した広報活動の展開

(4)将来に向け、見学会の有料化の議論を進める

本法人の活動を支える 3 つのボランティアグループ(サポーター会、グリーンクラブ、森林整備グループ)は、現在、交通費等の実費支弁もない状況で活動いただいている。

阿武山観測所一般見学会は京都大学から開催等について、受託費をいただいていることから今後も無料で開催する。

一方、団体見学会は・開催希望日時・希望するテーマ等、団体からの要望に柔軟に対応し開催している。

この様なことから団体見学会は「有料化」を図り、本法人の活動を支えるボランティアに交通費等支弁できる NPO 組織としたい。「有料化」については、本年度時間をかけ慎重に議論する。

Ⅲ 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

(事業名) (1) 地震・防災サイエンスミュージアム活動の企画・運営

事業内容	実施予定 日時等	実施予定 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数等	収益 費用 (千円)
① 一般見学会	開催日数 年間 20 日 午前/午後 計 40 回開催	阿武山観測所	1 回あたり 3 名以上	一般市民等 定員 30 名	収益あり (京大からの年間受託費) 費用なし (チラシ作成費京大負担)
② 団体見学会 2026 年度予約状況 茨木観光協会(50 名) 高槻市民カレッジ(24 名) 松原トレッキングクラブ(12 名) 奥坂地区委員会(15 名) 岡山理科大学(15 名) 県立北摂三田高校(42 名) 東近江防災保安協会(15 名)	団体から申し込みの都度 5 月 10 日 5 月 19 日 5 月 23 日 6 月 18 日 7 月 10 日 7 月 29 日 8 月 21 日	阿武山観測所	1 回あたり 3 名以上 団体人数 により 7 名以上	一般市民等	収益あり (団体からの寄付金等、未計上) 費用なし
③ サポーター募集・育成・定着 定期募集 随時募集 育成 育成計画・内容策定 マニュアルの再整備 研修会の定例化 定着 モチベーション維持 ・仲間意識を醸成する制服の追加購入・配備・支給 ・社会見学会企画立案 コミュニティー形成 サポーター交流会企画立案	第 4/4 四半期 見学会等都度 年間 毎月 1 回半日程度定例化検討 年間	阿武山観測所	1 回あたり 3 名以上	一般市民等 新規サポーター	収益なし 費用 50 (教材作成費等) 費用 150 (制服追加購入費)

(事業名) (2) 地震・防災研究の成果発信、教育、啓発

事業内容	実施予定 日時等	実施予定 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数等	収益 費用 (千円)
① 公開講座 新まんてんてらこや 第12回 第13回 第14回 第15回	年間4回開催 6月7日 9月6日 12月6日 3月7日	阿武山観測所	1回あたり 5名以上	NPO会員 一般市民等	収益 30 (一般市民 参加費) 費用 24 (チラシ印 刷費)
② 京大ウィークス開催時の 運営支援業務(2日間)	10月11日 10月12日	阿武山観測所	1日あたり 10名以上	一般市民等	収益あり (京大から の年間受 託費) 費用なし

(事業名) (3) 地震をはじめとする防災等に関する講演会、セミナー等の開催

事業内容	実施予定 日時等	実施予定 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数等	収益 費用 (千円)
① ペットボトル地震計講座	7月19日 7月20日	阿武山観測所	1回あたり 6名以上	小学4年生 以上の親子 20組以内	収益 180 (主催者から の謝金等) 費用あり (材料費未 計上)
	7月26日	高槻市 クロスパル	1回あたり 6名以上	高槻市民 小学4年生 以上の親子 20組以内	
	8月1日 8月2日	神戸 人と防災未来 センター	1回あたり 6名以上	小学4年生 以上の親子 20組以内	
② 出前講座(防災講演会) 2026年度予約状況 大阪府民カレッジ高槻校 大阪府民カレッジ吹田校 尼崎市民大学 大阪高齢者大学校	団体から申し込 みの都度 6月19日 6月23日 7月2日 7月7日	団体指定場所 高槻クロスパル 千里一番館 小田南生涯学 習プラザ 大阪教育会館 東館	1回あたり 2名以上	一般市民等	収益 260 (主催者から の謝金等) 費用なし
③ アマチュア無線体験運用 京大ウィークス特別イベント 南極昭和基地の無線交信 チャレンジ	都度 10月11日	阿武山観測所	1回あたり 2名以上	一般市民等	収益なし 費用なし

④ 外部団体でのブース展示					収益なし
教員のための博物館の日	8月3日	大阪市立自然史博物館	3名以上	大阪府教員	費用なし
高槻市アクアピア ふれあいフェスタ	2027年3月	高槻市アクアピア	3名以上	一般市民等	

(事業名)(4) 観測所施設や周辺環境の整備・保全、および、有効活用

事業内容	実施予定日時等	実施予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数等	収益費用(千円)
① 阿武山グリーンクラブによる活動	金曜 (夏季は毎週, 冬季は隔週) 午後半日	阿武山観測所	1回あたり 1～5名 程度	阿武山観測所構内屋外環境	収益なし 費用あり (制服追加購入費額未計上)
② 森林整備グループによる活動	必要の都度	阿武山観測所	1回あたり 1～5名 程度	阿武山観測所構内森林環境	収益なし 費用あり (制服購入費額未計上)
③ 地震計・工作機械・建物・保管資料・展示物等の維持ならびに保全業務	毎週木・金曜 見学会等	阿武山観測所	1回あたり 1～3名 程度 必要により増員	阿武山観測所構内	収益なし 費用なし (京大で負担)
④ 屋上の排水溝清掃業務	年間2回	阿武山観測所	1名 程度	阿武山観測所屋上環境	収益あり (京大からの年間受託費) 費用なし

(事業名)(5) 観測所施設を活用した学術・教育・文化・芸術事業の支援

事業内容	実施予定日時等	実施予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数等	収益費用(千円)
① 第6回 阿武山観測所と阿武山周辺の写真コンテスト	年間募集 審査年1回	阿武山観測所	1名 程度	一般市民等	費用 30 (入賞金等)

(事業名) (6) 教育関係者の研修、教育教材開発の支援

事業内容	実施予定 日時等	実施予定 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数等	収益 費用 (千円)
① 地震・防災研究成果・教育事業 大阪大学学生への 満点地震観測実習	教育機関等から 申し込みの都度 6 月 14 日	阿武山観測所	1 回あたり 1～5 名 程度	学生等	収益あり (講演会収 益に含む) 費用なし

2. その他の事業

(事業名) (1) 地震・防災に関連する資材・物資の販売

事業内容	実施予定 日時等	実施予定 場所	従事者 の人数	収益 費用 (千円)
① 書籍販売 阿武山観測所ガイドブック (販売目標 150 冊) 書籍「地震情報を読み解く」 (販売目標 65 冊)	見学会等の都度	阿武山観測所	1 名以上	収益 172 費用 52 (ガイドブッ ク印刷製 本費)

以上